





## ◎ぐんまの川のきれいさは？

群馬県では、それぞれの川や湖沼ごとにきれいさの目標である環境基準を定め、決められた地点で水の汚れを調査しています。令和3年度は目標が達成されている地点の割合は川で85.0% (34/40 地点)、湖沼で75.0% (9/12 地点) でした。

特に町の中を流れる中小の川の汚れが目立ちます。

\*主な環境基準として、pH、BOD、SS、COD、DO、大腸菌群数などがあります。



※湖沼と河川は、環境基準の類型指定の方法が異なるので、湖沼については、COD75%値のみを記載してあります。

### 〈参考〉BOD (生物化学的酸素要求量) とは

水の汚れが微生物によって分解されるときに消費される酸素の量で、水の汚れを示す指標の一つ。この数値が大きいほど汚れていることを示す (主として川に使用される)。

### COD (化学的酸素要求量) とは

水の汚れが、酸化剤で酸化されるときに消費される酸素の量で、水の汚れを示す指標の一つ。この数値が大きいほど汚れていることを示す (主として湖沼に使用される)。

### DO (溶存酸素量) とは

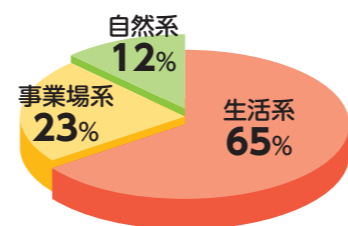
水中に溶けている酸素 (O<sub>2</sub>) の量のことをいいます。河川や海域での自浄作用や、魚類をはじめとする水生生物の生活に欠くことのできないものです。溶け込む酸素量は、水温などに影響されますが、きれいな水ほど飽和量に近い量が含まれます。

## ◎川の汚れの原因は？

### 台所は川や海につながっている

川を汚す原因には、生活排水や工場排水がありますが、右のグラフのように、家庭からの生活排水による割合が高いのです。生活排水は、河川や湖沼の水質汚濁の原因として問題になっています。

一軒一軒から流される排水はわずかな量でも全体では相当の量となります。私たちの生活をもう一度見直してみましよう。



■群馬県の川を汚している原因 (BOD排出負荷量)平成30年度推計

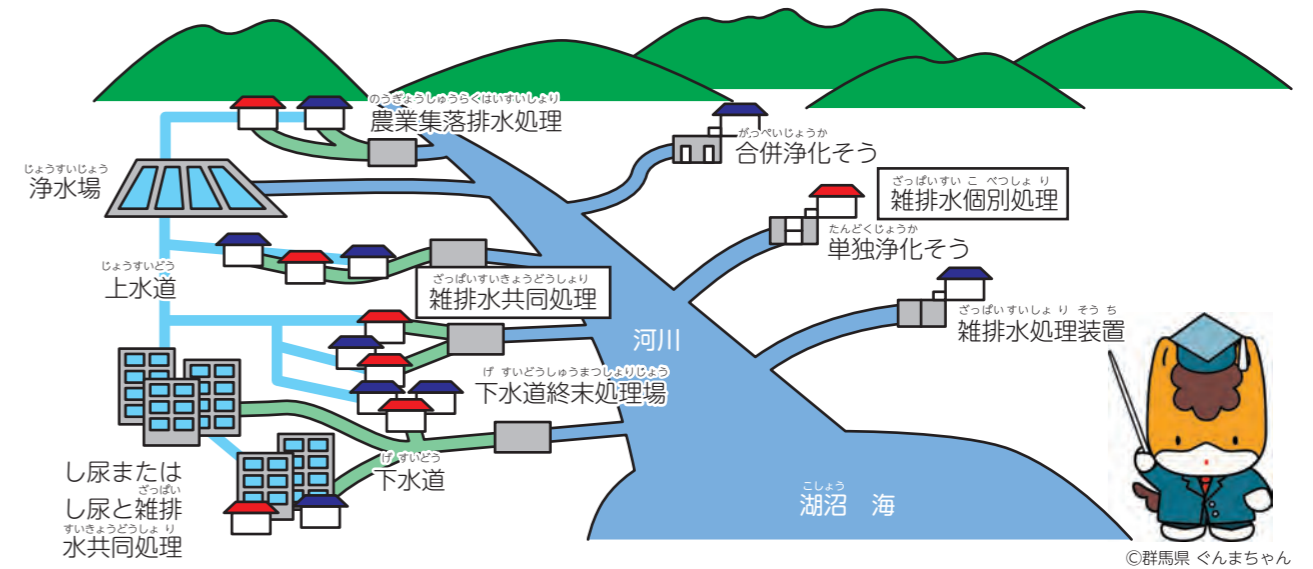
## ◎排水はどうやってきれいにする？

私たちは、炊事、洗濯、トイレ、風呂などの毎日の生活でたくさんの水を使います。その量は、一人が毎日、浴そう一杯分くらい使っています。そして、使い終わった水 (排水) は、洗剤や油汚れ、人間の汚物などを含んでいるため、そのまま川に流すと川にすむ生物や下流の人たちの環境を悪化させるので、きれいな状態にしてから流す必要があります。

排水をきれいにする方法で、もっとも普及しているのは、「下水道」です。広い範囲の排水を集めてきて、処理場で汚れを微生物で分解させてきれいにする方法です。また、下水道のように大きな施設をつくることのできない地域では、水洗トイレと家庭から出る全ての排水をきれいにする「合併処理浄化そう」という装置で排水をきれいにする必要があります。排水をきれいにするには、いろいろな方法を組み合わせる必要があります。

でも、最も大事なことは、水を大切に使い、水の汚れを減らすよう工夫することです。

### ■家庭からの排水の処理方法



## ◎知っていますか？

### 食品による水の汚れぐあい

### 魚がすめるきれいな水 (BOD 5mg/L) にするために必要な水の量

かりに以下の食品が川に流れた場合、魚がすめる位の水にするためには、浴そう (300リットル) でこれだけの水が必要です！

